

利根町告示第67号

令和2年第4回利根町議会臨時会を次のとおり招集する。

令和2年9月17日

利根町長 佐々木 喜 章

1. 招集の日 令和2年9月30日

2. 招集の場所 利根町議会議場

3. 付議事件

(1) 議案第65号 令和2年度利根町一般会計補正予算(第9号)

(2) 議案第66号 令和2年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算(第2号)

令和2年第4回利根町議会臨時会会期日程

日次	月日	曜日	会議	内 容	開議時間
1	9. 30	水	本 会 議	開会 提出議案（説明・質疑・討論・採 決）議案第65号，議案第66号 閉会	午前10時

令和2年第4回
利根町議会臨時会会議録

令和2年9月30日 午前10時開会

1. 出席議員

1番	峯山典明君	8番	井原正光君
2番	山崎誠一郎君	9番	五十嵐辰雄君
3番	片山啓君	10番	若泉昌寿君
4番	大越勇一君	11番	新井邦弘君
5番	石井公一郎君	12番	船川京子君
6番	石山肖子君		

1. 欠席議員

7番 花嶋美清雄君

1. 説明のため出席した者の氏名

町	長	佐々木喜章君
教 育	長	海老澤勤君
総 務 課	長	飯塚良一君
企 画 課	長	川上叔春君
財 政 課	長	大越達也君
税 務 課	長	大越克典君
住 民 課	長	桜井保夫君
福 祉 課	長	蜂谷忠義君
子 育 て 支 援 課	長	花嶋みゆき君
保健福祉センター所長		狩谷美弥子君
環 境 対 策 課	長	中村寛之君
保険年金課長兼国保診療所事務長		直江弘樹君
経済課長兼農業委員会事務局長		近藤一夫君
建 設 課	長	中村敏明君
都 市 整 備 課	長	飯田喜紀君
会 計 課	長	田口輝夫君
学 校 教 育 課	長	青木正道君
生 涯 学 習 課	長	久保田政美君

指 導 室 長 池 田 恭 君

1. 職務のため出席した者の氏名

議 会 事 務 局 長	赤尾津 政 男
書	記 荒 井 裕 二
書	記 野 田 あゆ美

1. 会議録署名議員

1 番	峯 山 典 明 君
2 番	山 崎 誠 一 郎 君

1. 議事日程

議 事 日 程

令和2年9月30日（水曜日）

午前10時00分開会

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の件
- 日程第3 議案第65号 令和2年度利根町一般会計補正予算（第9号）
- 日程第4 議案第66号 令和2年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）

1. 本日の会議に付した事件

- 日程第1 会議録署名議員の指名
- 日程第2 会期の件
- 日程第3 議案第65号
- 日程第4 議案第66号

午前10時00分開会

○議長（船川京子君） おはようございます。

ただいまの出席議員は11名です。7番花嶋美清雄議員から、所用のため欠席との届出がありました。

定足数に達しておりますので、令和2年第4回利根町議会臨時会を開会いたします。

それでは、本日の会議を開きます。

本日の議事日程はお手元に配付のとおりです。

これより議事日程に入ります。

○議長（船川京子君） 日程第1，会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第125条の規定により，

1番 峯山典明 議員

2番 山崎誠一郎 議員

を指名いたします。

○議長（船川京子君） 日程第2，会期の件を議題とします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は，本日1日にしたいと思えます。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（船川京子君） 異議なしと認め，そのように決定いたしました。

○議長（船川京子君） 審議に入るに当たり，提出議案の説明を求めます。

佐々木喜章町長。

〔町長佐々木喜章君登壇〕

○町長（佐々木喜章君） 皆さん，おはようございます。本日，ここに令和2年第4回利根町議会臨時会を招集しましたところ，議員の皆様方には御出席を賜り，誠にありがとうございます。

それでは，本日の私のほうから御提案いたしました議案の概要を申し上げます。

今回の提出議案は補正予算案2件でございます。

まず，令和2年度利根町一般会計補正予算（第9号）についてですが，歳入歳出それぞれ2億6,209万2,000円を追加し，総額を84億6,764万円とするものでございます。

国の第二次補正予算により増額となった新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業が補正予算の主な内容でございます。

次に，令和2年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）についてですが，歳入歳出それぞれ30万円を追加し，総額を1,415万8,000円とするものでございます。

詳細につきましては，後ほど担当課長から説明させたいと思えますので，お手元の議案書等により御審議の上，何とぞ適切なる御判断を賜りますよう，よろしくお願いを申し上げます。

○議長（船川京子君） 説明が終わりました。

○議長（船川京子君） 日程第3，議案第65号 令和2年度利根町一般会計補正予算（第9号）を議題とします。

補足説明を求めます。

大越財政課長。

〔財政課長大越達也君登壇〕

○財政課長（大越達也君） 議案第65号 令和2年度利根町一般会計補正予算（第9号）についてを補足して御説明申し上げます。

4ページをお開き願います。

第2表債務負担行為補正でございます。

議会会議システムソフト使用料でございますが、期間は令和2年度から令和7年度まで、限度額は128万4,000円とするものでございます。

次に、小中学校学習支援ソフト使用料でございますが、期間は令和2年度から令和7年度まで、限度額につきましては、今回の補正予算の歳出予算に計上しており、次年度以降の支出予定がないため限度額はゼロ円となっております。

次に、第3表地方債補正でございます。

起債の目的で過疎対策事業債は、ハード分で920万円減額し、限度額を4億1,010万円とするもので、保健福祉センタートイレ改修工事を、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金から財源充当するため、430万円の減額でございます。

また、補正予算（第8号）で過疎対策事業債の防災・安全社会資本整備交付金事業を減額した際に、第3表地方債補正の限度額を減額していなかったため、今回の補正で490万円を減額するものでございます。

次に、歳入でございますが、8ページをお開き願います。

款15国庫支出金、目1総務費国庫補助金は2億5,775万9,000円を増額するもので、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で、新型コロナウイルス感染拡大を防止するとともに、感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し地方創生を図るため、緊急経済対策の全ての事項についての対応として、地域の実情に応じて新しい生活様式等への対応を図りながら、きめ細かに必要な事業を実施するための交付金で、限度額としての計上でございます。

次に、目5教育費国庫補助金は391万9,000円を増額するもので、節1小学校費補助金は、情報機器整備費補助金で、内訳としましてG I G Aスクール構想に伴いI C T環境整備の設計や使用マニュアル作成等を行う技術者を配置するため86万2,000円を増額で、補助率は基準額の2分の1、就学援助者を対象にした家庭学習のためのモバイルルータ購入のため25万円の増額で、補助率は10分の10でございます。

次の学校保健特別対策事業補助金で150万円の増額で、学校再開に伴う感染症対策の消耗品、備品の購入費と修学旅行のキャンセル料で、補助率は補助対象経費の2分の1でございます。

次に、節2中学校費は、こちらも情報機器整備費補助金で、内訳としましてG I G Aス

クール構想に伴いICT環境整備の設計や使用マニュアル作成等を行う技術者を配置するため28万7,000円の増額で、補助率は基準額の2分の1、就学援助者を対象にした家庭学習のためのモバイルルータ購入のため12万円の増額で、補助率は10分の10でございます。

次の学校保健特別対策事業補助金で75万円の増額で、学校再開に伴う感染症対策の消耗品、備品の購入費と修学旅行のキャンセル料で、補助率は補助対象経費の2分の1でございます。

次に、節3事務局費補助金は15万円の増額で、一般会計補正予算（第2号）の款9教育費、項1教育総務費、目2事務局費の小中学校新型コロナウイルス感染症対策事業で購入いたしました消耗品費に対する補助金で、補助率は2分の1でございます。

款16県支出金、目6商工費県補助金は639万6,000円を増額するもので、利根町プレミアム付商品券を発行するための補助金で、補助率は2分の1でございます。

款19繰入金、目1財政調整基金繰入金は168万2,000円を減額するもので、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付により歳入が増額となったことから、財政調整基金へ繰り戻すものでございます。

款22町債、目4過疎対策事業債は430万円を減額するもので、地方債補正でも御説明いたしました保健福祉センターのトイレ改修工事で、今回の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の交付対象事業に該当するため、減額するものでございます。

続きまして、歳出でございますが、9ページを御覧ください。

今回の歳出は、歳入でも御説明しました新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金対象事業とGIGAスクール構想に伴う国庫補助金対象事業、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けている中小企業等の活力向上に向けた県補助金の対象事業の計上でございます。

款1議会、目1議会費は2,722万7,000円を増額するもので、議会タブレット導入事業で286万9,000円の増額、議会議場設備更新事業で2,435万8,000円の増額でございます。

款2総務費、目2秘書広聴費は102万1,000円を増額するもので、広報事業で、防災情報を含む行政情報の発信強化のためのアプリ作成業務委託の増額でございます。

10ページをお開き願います。

次に、目5財産管理費は240万5,000円を増額するもので、庁舎管理で便座クリーナー設置工事で128万7,000円の増額、共用備品費で職員が感染した後の庁舎の消毒用の消耗品と備品の購入費で111万8,000円の増額でございます。

次に、目6企画費は1,369万円を増額するもので、ふれ愛タクシー運行事業で、利用促進のため利用券の配布で720万円の増額、システム改修業務委託で528万円の増額、公共交通対策事業で121万円の増額で、町内に関係する交通事業者に対する支援金の増額でございます。

次に、目7まちづくり推進事業費は50万円を増額するもので、大学との連携事業で、町

内に所在する大学に対する支援金の増額でございます。

11ページを御覧ください。

次に、目9行政事務改善費は2,943万6,000円を増額するもので、電子自治体推進事業で、今後の感染拡大時の分散業務に対応するため、庁内無線LAN構築業務委託及び設置工事費の増額でございます。

次に、項2徴税費、目1税務総務費は50万円を増額するもので、住民税事務費で確定申告受付時の消耗品と備品の購入費でございます。

次に、項4選挙費は1,288万6,000円を増額するもので、選挙時感染症対策費で消耗品と備品の購入費でございます。

12ページをお開き願います。

款3民生費、項1社会福祉費、目1社会福祉総務費は300万円を増額するもので、利根町社会福祉施設感染症対策事業で、町内の介護保険施設及び障害者福祉施設への支援金の増額でございます。

次に、目2老人福祉費から目10保健福祉センター費までは、財源の組替えでございます。

次に、項2児童福祉費、目1児童福祉総務費は500万6,000円を増額するもので、利根町新生児特別定額給付金支給事業で、令和2年4月28日から令和3年4月1日の間に生まれた子供に対する給付金の増額でございます。財源内訳の一般財源でございますが、一般会計補正予算（第6号）で議決されました、11名の議員からの辞退の申出による政務活動交付金、町長・教育長の給与の減額分を充てております。

13ページを御覧ください。

次に、目2児童措置費は180万円を増額するもので、保育所等補助金事業で庁内保育所等施設に対する支援金の増額でございます。

款4衛生費、目2予防費は60万円を増額するもので、感染症予防対策事業で町内の医療機関への支援金の増額でございます。

款5農林水産業費、目6農村環境整備事業費は429万3,000円を増額するもので、集落センター運営事業で、利根東部集落センターの床修繕及び多目的ホール、調理室の空調設備工事の増額でございます。

14ページをお開き願います。

款6商工費、目2商工振興費は1,478万8,000円を増額するもので、町内共通商品券販路拡大事業で266万円の減額、新型コロナ禍経済対策事業でプレミアム付商品券販売により1,309万8,000円の増額、商店街再生事業で空き店舗を利用し事業の創出や創業を支援するため435万円の増額でございます。

次に、目3観光費は138万8,000円を増額するもので、観光事業で、次のページで、観光アプリ制作のため、利根町観光協会への補助金の増額でございます。

款 8 消防費，目 5 防災費は4,575万2,000円を増額するもので，防災施設費で避難所運営対策として消耗品と備品の購入費，分散避難を想定した施設等整備補助金の増額でございます。

款 9 教育費，項 1 教育総務費，目 2 事務局費は4,721万2,000円を増額するもので，教育 I C T 推進事業で小中学校の校務支援システム及び学習支援システムの整備のための増額でございます。

16ページをお開き願います。

次に，目 3 語学指導事業費は，財源の組替えでございます。先ほど御説明しました町内共通商品券販路拡大事業に過疎対策事業債のソフト分を充当しておりましたが，減額となったため，外国語指導講師派遣業務委託費への組替えでございます。

次に，項 2 小学校費，目 1 学校管理費は1,276万6,000円を増額するもので，小学校施設維持補修事業で特別教室への空調設備工事費で880万円の増額，G I G A スクール I C T 環境整備事業で環境整備設計や使用マニュアルの作成業務委託，貸出用モバイルルータの購入費で208万8,000円の増額，学校再開に伴う感染症対策・学習支援保障支援事業で消耗品と備品の購入費，修学旅行のキャンセルに伴う保護者への補助金で187万8,000円の増額でございます。

次に，項 3 中学校費，目 1 学校管理費は3,405万円を増額するもので，中学校施設維持補修事業で特別教室・屋内運動場への空調設備工事費で3,210万円の増額，G I G A スクール I C T 環境整備事業で環境整備設計や使用マニュアルの作成業務委託，貸出用モバイルルータの購入費で73万8,000円の増額，学校再開に伴う感染症対策，学習支援保障事業で，消耗品と備品の購入費，修学旅行のキャンセルに伴う保護者への補助金で121万2,000円の増額でございます。

18ページをお開き願います。

次に，項 4 社会教育費，目 8 図書館費は367万2,000円を増額するもので，図書館管理運営事業で消耗品と備品の購入費でございます。

次に，項 5 保健体育費，目 1 保健体育総務費は10万円を増額するもので，学校体育施設開放事業で消耗品の購入費でございます。

説明は以上でございます。

○議長（船川京子君） 説明が終わりました。

これから本案に対する質疑を行います。

3 番片山議員。

○3 番（片山 啓君） それでは，質疑をさせていただきます。

まず，私どもが説明を受けた資料と予算書で質問いたします。

まず，事業番号 6，説明資料ですね，予算書10，交通事業者支援事業，バス会社91万円，タクシー・代行車各10万円，また，次，事業番号 7，予算書の10ページです。大学支援事

業50万円、事業番号11、予算書では12ページです。社会福祉施設支援事業、規模により各算定すると、事業番号12、予算書では13ページ、保育所支援事業で各施設に30万円、事業番号14、予算書13ページです。医療機関助成事業で1施設に対して10万円となっておりますが、それぞれ事業が違いますが、その算出基準をお教えいただきたい。

また、事業番号13、予算書12ページ、新生児支給事業、予算書では国県支出金が418万1,000円、一般財源が82万5,000円となっておりますが、説明では、町単独418万1,000円、その他80万5,000円となっておりますが、どういうふうが違うのか。それは事業番号16、予算書14ページでも同じようなことが言えると思います。

それと、事業番号18、インキュベーション等ということですが、予算書では14ページですね、家賃40万円、改修費に200万円、備品に100万円、そうなっていますが、具体的物件があるのかどうか、また、何店舗を想定しているのか、また、家賃は毎年毎年発生するのか、以上について質問いたします。

○議長（船川京子君） それでは、今の質疑に対し、該当する担当課長は挙手の上、答弁をお願いしたいと思います。

川上企画課長。

○企画課長（川上叔春君） それでは、質疑にお答えをいたします。

まず、款2総務費、目6企画費の中の公共交通対策事業費121万円の増額で、交通事業者感染防止対策支援金121万円増額の算出基礎ということでございますが、町内には公共交通事業者として区分が三つございます。まず、バス事業者、これにつきましては所有台数が13台のバスがございまして、1台当たり7万円の単価をしまして、バス事業者については91万円の補助金を考えております。

次に、タクシー事業者におきましては、町内常住のタクシー台数が3台ございまして、1台当たり5万円を考慮しております、合計15万円です。

最後に、運転代行業者、登録台数が3台ございまして、1台当たり5万円で15万円の補助金を考えております。

なお、この7万円と5万円の単価についてでございますが、この単価につきましては、県内で同様の支援金を支出しております自治体を参考にして、本町で決めたものでございます。

続きまして、同じく款2総務費、目7まちづくり推進事業、新型コロナウイルス感染防止対策大学支援金でございますが、今回50万円の増額をさせていただきます。

これの算出基礎でございますが、今回、第二次の地方創生臨時交付金を活用して、町内にあります保育所施設や社会福祉施設等にも同様の支援金を今回考えております。この支援金の算出につきましては、施設規模のほうをベースに支援金を決めてございまして、最大50万円として考えていたため、大学の規模を考慮しまして50万円として町のほうで計算で決定したものでございます。

以上です。

○議長（船川京子君） 蜂谷福祉課長。

○福祉課長（蜂谷忠義君） では、12ページをお願いします。

こちら、民生費、社会福祉総務費の利根町社会福祉施設感染症対策事業費300万円なんです。こちらにつきましては、一応施設の定員により、50人以上の施設が50万円、10人以上50人未満が30万円、10人未満が10万円支給するものとしております。

一応50人以上の施設は4施設、10人以上50人未満の施設は3施設、10人未満の施設が1施設となっております。

この金額の算定ですが、こちらも同様の他市町村でやっているものを参考に、この50万円、30万円、10万円という形で計上させていただきました。

以上です。

○議長（船川京子君） 花嶋子育て支援課長。

○子育て支援課長（花嶋みゆき君） まず、12ページの3民生費、2児童福祉費、1児童福祉総務費の中の利根町新生児特別定額給付金支給事業について、こちらは500万6,000円ですが、国の特別定額給付金の対象外となった新生児を養育する保護者の経済的な負担の軽減を図るため、利根町新生児特別定額給付金を支給するという内容としましては、国の定額給付金の対象外となります令和2年4月28日から令和3年4月1日までに出生し、出生時に利根町に住民登録されている新生児を養育する保護者に対して、経済的負担の軽減を図るために支給するものです。

給付金は特別定額給付金と同様の新生児1人につき10万円で、50人分の予算となっております。

こちらの財源につきましては、先ほど財政課長から説明がございましたが、6月議会定例会において議決されました一般会計補正予算の中で、新型コロナウイルス感染症対策の財源確保のため、議員の政務活動費交付金について、11名の議員の方が辞退されたことにより計62万6,000円と、町長の給料の減額により10万6,000円及び教育長の給料減額により9万3,000円、合計82万5,000円、こちらを一般財源のほうから、こちらの給付金に充当させていただいております。

新生児のほうは以上です。

続きまして、目2児童措置費の中の保育所等補助金事業の中の保育所等施設緊急支援金180万円ですが、町内の保育所、認定こども園、6園に対しての支援金として、1施設当たり30万円を交付するものです。この支援金は、国や県からの補助金の交付を受けるもの以外で、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のために要する経費として交付いたします。

金額の算出ですが、補助金の交付を受けるもの以外ということで、希望があるんですが、30万円で設備が整うのではないかとこの金額にさせていただきました。

説明は以上です。

○議長（船川京子君） 狩谷保健福祉センター所長。

○保健福祉センター所長（狩谷美弥子君） 予算書の13ページをお願いいたします。

款4衛生費，項1保健衛生費，目2予防費の感染症予防対策事業でございます。こちらにつきましては，新型コロナウイルス感染症対策を講じたり，患者さんからの相談や診療に当たっている町内の民間の医療機関を対象に，支援金として一律10万円を交付するものでございます。

こちらの算出根拠でございますが，ほかの自治体で新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金を活用した医療機関への支援金の金額を参考にしたものでございます。

参考でございますが，病院に100万円，ベッドを持っている有床診療所に50万円，無床診療所に20万円という自治体もございます。そのほかに，病院に20万円，診療所に10万円ということが数か所ございましたので，これを機に県内，県外を含めての自治体の支援金を参考に算出させていただきました。

以上でございます。

○議長（船川京子君） 近藤経済課長。

○経済課長兼農業委員会事務局長（近藤一夫君） 14ページをお願いします。

インキュベーション事業につきまして，物件ということですが，今，商工会のほうへ空き店舗の調査を依頼しておりますので，その結果を基に要件に合う空き店舗物件を選定する予定でございます。

何店舗ということなのですが，1店舗を予定しております。

家賃ということですが，その店舗を借りていただける起業が出れば家賃はかかると想定しております。

○議長（船川京子君） 片山議員。

○3番（片山 啓君） 今のインキュベーションですけれども，家賃は今年度分だけですか。それと，これは事業開始が感染が収まった後となっているんですね。感染が収まらなければ，こういう事業は全て中止ということによろしいですか。

○議長（船川京子君） 近藤経済課長。

○経済課長兼農業委員会事務局長（近藤一夫君） 片山議員の質疑にお答えします。

家賃のほうですけれども，1月5万円で6か月を，今回の事業では想定しております。起業が物件を買い受けるまでは，家賃のほうはかかってくると思うので，来年もかかると思います。

あと，終息後という御質問ですが，今回の新型コロナウイルスの感染症で影響を受けた地域の魅力向上等をさせるために，終息後を見据えた活動や新しいチャレンジを応援するために，今回の事業のほうは計上しております。

以上です。

○3番（片山 啓君） 終わりです。

○議長（船川京子君） ほかに質疑、ございませんでしょうか。

4番大越議員。

○4番（大越勇一君） 予算書の14ページ、款6商工費、項1商工費、目2商工振興費、商店街再生事業435万円について伺います。

概要では終息後の町内商店街の再生と活性化を目的に、空き店舗等を活用したチャレンジショップの整備など、町内での新規起業関係に創業支援とありますが、主な要件について伺います。

先ほど、1店舗を予定するとおっしゃいましたが、応募人数、申請方法、申請に必要な書類、申請時期、応募者人数が超えた場合の審査方法等について伺います。

○議長（船川京子君） 近藤経済課長。

○経済課長兼農業委員会事務局長（近藤一夫君） それでは、大越議員の質疑にお答えします。

今回の対象物件となった場合、大規模な改修等を行う予定はございませんので、内装とかでやっていきたいと考えております。

また、店舗の利用ですか、これについては、外部アドバイザーの指導の下、町民参加型で空き店舗の活用とか、そういった方向を考えていく予定で考えております。

その応募方法ですか、それについては今後検討していきたいと思っておりますので、アドバイザー、商工会を加え考えていきたいと思っております。

以上です。

○議長（船川京子君） ほかに質疑ございませんでしょうか。

5番石井公一郎議員。

○5番（石井公一郎君） 14ページをお願いします。14ページの、一つは先ほども空き店舗の件が出ていたんですけれども、この中で「終息」とはどのような状態になったときに、ですから終息しなければ、この事業はやらないですよと思うんですけれども、その点。それと、施設の備品100万円については、何を予定しているのか。

それと、16ページの教育費で小学校費、学校管理費で文小学校に140万円、空調の特別教室の分なんだけれども、布川小学校で特別教室の空調610万円、文間小学校で130万円、これ3密防止と分散授業に備えるためということで空調設備をするんだということなんですけれども、実際に夏場の特別教室の利用頻度、どのくらい使っているのか。実際には今までずっと経過してやってきているわけだから、そこに本当に必要か。

もう一つは、令和5年度に布川小学校に合併を目指しているというようなことで、本当にこの後、文小、文間小の利用が、どのように利用していくのかが分からないのに、もっと違うところに、私は使うべきだと思っているんですよ。

今、合併するのに、今、答えられないと思うんですけれども、本当に利用頻度がなかつ

た場合に、本当に少ないと思うんですよ、音楽室にしても理科室にしても、今までそれでやってきたんだもの、ここだけやるんだったら、もっと違うところにかけるべきかなと、そのように思っております。

それともう一つですけれども、17ページの教育費、中学校費の学校管理費、この中で2,500万円、これは利根中の屋内運動場の空調設備、これは体育館にスポット型の空調機を4台整備すると、これ、2階に設置するというようなことなただけけれども、本当に2階で、重いかどうか分からないんですけれども、本当にこれ2階に設置してどうなのかなと、いうことがあるので、それに今度の維持管理費、電気代とか、その辺、分かったら教えてください。

それに、18ページの教育費の社会教育費、図書館費の中で書籍の除菌機132万円、これは1冊1冊、除菌機とはどのようなものなのか、その辺説明してください。

○議長（船川京子君） 近藤経済課長。

○経済課長兼農業委員会事務局長（近藤一夫君） 石井議員の質疑にお答えします。

終息後とはということですが、先ほど片山議員にもお答えしたとおり、今回のコロナウイルス感染症の影響を受けた地域の魅力を向上させるため、終息後に備えた準備ですね、新しい起業、新規起業家やチャレンジショップ等に貸出すための事業でございます。

それと、100万円の備品についてでございますが、想定している備品ですが、看板、椅子、テーブル、照明器具、陳列棚等を考えております。ただ、その起業、チャレンジショップ等によっては若干備品の内容が変わるとは思いますので、ある程度の概算ということでのせてあります。

以上です。

○議長（船川京子君） 青木学校教育課長。

○学校教育課長（青木正道君） それでは、石井議員の御質疑にお答えいたします。

まず、16ページの日1学校管理費、小学校施設維持補修事業の小学校の空調整備という件でございます。文小学校在140万円、布川小学校在610万円、文間小学校在130万円ということで、今回のせらせていただきました。

まず、必要性ということでございます。今までも、ないところでどうにかやってきたのではないかとございまして、今回コロナ禍の影響で休校させていただいた期間は、クーラーを使わない期間でございました。学校ともいろいろ打合せをいたしまして、未設置の特別教室、特に理科室などは、3年生以上ですと週3時間以上授業があったりとか、そういうことを考慮して特別教室の設置場所の選定をさせていただいております。

また、合併を見据えて、文小学校在、文間小学校的空調はどうなんだということですが、これにつきましては、文小学校在、文間小学校的空調は置き型のクーラーを予定しております。天吊型ではなくて置き型のクーラーを考えておりますので、合併後も合併した小学校に、そのクーラーを取り外して再利用できるという形で選ばせていただいております。

ます。

もう一つの御質疑でございます。17ページ、目1学校管理費、中学校施設維持補修事業でございます。利根中学校屋内運動場空調設備工事2,500万円でございますが、2階にそれをつけてクーラーとしての機能があるのかということでございます。

こちらにつきましては、既に東京都などで設置しております区などに連絡をいたしまして、実用性ですとか効き目ですとか、そういうのは確認をしております。ただし、もともとクーラーを設置するための体育館として建てておりませんので、利き具合というのは、何と言いますか、完全に冷房が効くという、そこまでは行かないと思うんですけども、熱中症対策等につきましては十分対応できるという実績があるということで、うちのほうも同じような形を選ばせていただいたということでございます。

以上です。

○5番（石井公一郎君） 維持管理で、電気代とか。

○学校教育課長（青木正道君） すみません、体育館の維持費につきましては、ちょっと今手元に数字を持ってきていないので、後で御報告させていただきたいと思えます。

○議長（船川京子君） 久保田生涯学習課長。

○生涯学習課長（久保田政美君） それでは、石井議員の質疑にお答えさせていただきます。

図書館費の書籍除菌機、こちらでございます。こちらにつきましては、イメージとしてなんですけれども、大きめの電子レンジのような形をしております、そちらを想像していただきたいと思えます。

また、その中に本を入れまして、利用者がスイッチを押しますと、約30秒から1分程度で最大、書籍の厚さもあるかと思うんですけども、最大6冊まで紫外線等によるウイルス、ほこり、臭い、こちらのほうを取れるような状況になっています。

また、近隣では取手市の図書館で導入しているという実績もございます。

説明については以上でございます。

○議長（船川京子君） 青木学校教育課長。

○学校教育課長（青木正道君） 先ほどの石井議員の御質疑、維持費ということで申し訳ございませんでした。一応電気代が年間で約41万円、月に直しますと、毎月使うということはないと思うんですけども48万円、また、フィルターの清掃、シーズンの前と後2回を予定しております、それが約9万円という維持費がかかるということでございます。

以上です。

○議長（船川京子君） 石井議員。

○5番（石井公一郎君） 14ページのことなんですけれども、これ「終息後」というのは、どういう状態を終息後と言っているのでしょうか。その辺、こういう状態になった場合は終息後なんですよというのは、国などから、もうコロナは終わりましたよということがあ

って終息後と捉えるのか、その辺。交付対象事業の概要の中でうたっている終息後、これはどういう意味なのか、その辺、説明してください。

○議長（船川京子君） 暫時休憩とします。再開を11時5分とします。

午前10時52分休憩

午前11時05分開議

○議長（船川京子君） 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

近藤経済課長。

○経済課長兼農業委員会事務局長（近藤一夫君） それでは、石井議員の御質疑にお答えいたします。

前回、全員協議会の説明資料のほうで、概要として終息後のこの終息というのは、ゼロを意味するものですから、これは無理なものですから答弁を修正させていただきます。

それでは、現在、国県のほうを今の段階でG o T oトラベルとかG o T oキャンペーン、いろいろな経済のほうに進み出しているところでございます。それに伴いまして、町のほうとしても、コロナの終息、ゼロにはならないと思うんですが、ある程度の落ち着き、今現在の国県の動きを見ながら新たな活動、新たなチャレンジに応援するという観点から、今回の事業を計画いたしました。

以上でございます。

○議長（船川京子君） 石井議員。

○5番（石井公一郎君） 今聞くと、国のほうもG o T oトラベルとか、そういうことをしているというようなことを見ながら進めていくんだということで、町長、それでよろしいんでしょうか。最後にお願いします。

○議長（船川京子君） 佐々木町長。

○町長（佐々木喜章君） コロナ禍で国、全世界もそうなんですが、閉じ籠もり、特に利根町、この近隣を見ても高齢者の方が家に閉じ籠もって、少しでも表に出て元気出してもらうように、ルールを守って、3密を防ぐようにしながら、また周りを見ながら徐々にいろいろな活動をしていきたいと考えているところでございます。

○議長（船川京子君） ほかに質疑ございませんでしょうか。

6番石山肖子議員。

○6番（石山肖子君） 6番石山肖子です。私のほうでは、2点お伺いしたいと思います。

行政アプリと観光アプリについて、ある視点から質問させていただきます。予算書でいきますと、9ページの目2秘書広聴費の広報事業でございます。委託料102万1,000円、行政アプリ作成業務委託、説明会のときにも概要をお聞きいたしました。先ほどの財政課長のお話ですと「防災情報を含み」というような表現をお聞きいたしました。全庁型アプリという意味合いで推進していきましての、その防災アプリ的なものをつくっていかれる

のかなと思います。

その中で、災害時の正確な情報を迅速に住民へ届けるということが最重要課題であろうかなと思っております。その中で、まず行政アプリ作成事業の中で、そのアプリの仕様です、仕様書の仕様、として住民との双方向の通信、例えば崖のほうに変な音がするとか、そういうものを町民のほうで返すような仕組みがあるのか、共助のためのツールとして非常に重要な部分に進化していくのだろうと思いますが、そういうものを想定されているかどうかをお聞きいたします。

もう一つは観光アプリのほうですが、こちらと同じような観点から、恐らくオンラインの町内のいろいろなところを知らせて動画を配信されまして、それで行く行くは来ていただく、関係事項を発掘するという狙いがあると思いますが、これについては、見られた方からの感想ですとか、例えばSNSを使ったので、これからそういうものが、このアプリには機能としてつくっていかれるお考えがあるかどうか、お聞きいたします。

○議長（船川京子君） 石山議員の質疑に対する答弁を求めます。

飯塚総務課長。

○総務課長（飯塚良一君） それでは、石山議員の御質疑にお答えいたします。

まず、行政アプリということで、防災情報を含めた行政アプリということで御説明申し上げました。その中で、仕様の話なんです、双方向通信ができるのかどうかという点でございます。現在、それは仕様としては考えておりません。

崖情報とか、崩れそうな心配がするとかという情報を町のほうで受けるというのは、非常に有効な手段であるかなとは考えています。

ただ、ほかのアプリとかを見ますと、それがタイムリーに伝わるかどうかというのは、ちょっと難しいのかなというふうに思います。

というのは、相手方から発信する、写真を送っていただく、こちら側が見るという時間までには、多少時間がかかってしまうのかなということもありますので、もし危険な情報であれば、電話していただく、直接出向いていただくという情報のほうが、一番早いのではないかなというふうには考えております。

今後、バージョンアップ等をする際に、業者のほうとも話して、そういういい方法がないかどうか、あるかどうか、これをちょっと確認しながら、バージョンアップした際に、そこまでカスタマイズできるかどうか検討していきたいと思っております。

以上です。

○議長（船川京子君） 近藤経済課長。

○経済課長兼農業委員会事務局長（近藤一夫君） それでは、石山議員の質疑にお答えします。

今回の観光アプリ開設事業でございますが、今回のコロナに関して、積極的な利根町の観光のPRができない状況である今現在ですが、今後の取組として、自宅にいながらスマ

ートフォンで利根町の観光，神社・仏閣・歴史・文化資産，また飲食店などの情報を見て，利根町に来た際には，そういったものを見てもらうような形で，今回のアプリ開設のほうは考えております。

今後は，そういった折り返しですか，のほうができるかどうかは，その制作会社のほうと協議しながら検討していきたいと考えております。

以上です。

○議長（船川京子君） ほかに質疑ございませんでしょうか。

8 番井原正光議員。

○8 番（井原正光君） それでは質疑いたします。

まず，9 ページから質疑をします。議会が今度インターネットで，どなたでも自宅で見られるようになるというようなことで，開かれた議会，住民の議会と言えるかと思うんですが，果たしてこれいつ頃から見られるようになるのか，開始ですね，予算は通るでしょう，通って，工事始まって，12月に間に合うのか，3月議会に間に合うのか，その辺をお聞きしたいと思います。

それから，これは企画課かどこかで聞いたほうがいいんだけども，関連して，今，デスク・ノートパソコンでもタブレットでもスマートフォン，携帯とかPHSとかいろいろあるんだけども，データによると，若い人は持っているんだけども，年齢が高くなると持っていない人が多い傾向があるんですね。だから，その辺も含めて，利根町は老人の町だから，今日傍聴に来てくださっている人，今までも来てくださっている傍聴者を見ると，大分年配者が多いので，今度は傍聴者がこのやり取りを自宅で聞けると思うんですね。そういうことで，この機器を普及させなきゃ意味がないので，その辺をどうするかなんですよ。その辺のお考えをちょっとお聞かせいただきたい。

これは議会からちょっと外れるかも分からないんだけども，総務課長，企画課長，その辺。

それから，もう一つ，その同じページで，先ほど私の前に質問していたんですけれども，行政アプリと商工会の補助金，商工会の補助金は観光アプリを立ち上げるんだと，そして関係人口を増やすんだということで，行政アプリのほうは，行政情報と災害情報と加えて感染防止等，全部絡めてアプリを立ち上げる，構築すると言うんだけども，このアプリの内容はどのようなものを構築するんですか。内容，それが知りたいんですよ。

例えば，ほかの市町村でもってやっているような，母子手帳に代わるものとか，子育てとか，あるいはまたアクセスするだけで医師に診てもらえることができるアプリとか，そういった住民が生きていく上で，生活する上で役に立つようなアプリでないという意味がないです。

もう一つは，何で補助金を出してアプリを商工会で構築させなければならないのか，行政一本で，いろいろな意見を聞きながら必要なアプリを立ち上げることはできないのかど

うか、それが不思議だなと思っているんです。その辺、お聞きしたい。

それから、次のページの企画費のふれ愛タクシー住民検索システムと、その下の交通事業者感染防止対策支援金、これはお聞きいたしました。ふれ愛タクシーの利用券をくれるのはいいんですけども、平成31年度でこのふれ愛タクシーの登録者が2,252名だとお聞きしていますが、この中で実際に独り親世帯とか生活困窮者とか、そういう方がいるのか、いないのか、そういうことをお聞きしたいんですね。

それともう一つは、このふれ愛タクシー住民検索システムを改修するんだという業務なんだけれども、この改修することによって、利用者が、あるいはこれから新規登録されてどのような利便性、今までと違った使いやすさがあるのか、その辺、ちょっと説明してください。

それから、その下のまちづくりの大学、これはどなたかも言っていましたけれども、50万円、少ないよね、説明では一施設に対して最大50万円だという説明かと私は聞いたんですけども、一施設でなくて、そこに出入りする人間、これの感染予防だと思うんです。そう思わないですか。平成26年から平成31年の6年間に転入者、転出者いろいろお聞きしましたけれども、3,000人も4,000人もいると、ちょっと平均で割ると年間600人もいるんだけれども、この大学で出入りしているけれども、非常に多いよね、こういうところでこそクラスターが発生するのだから、もう少し感染防止対策としては、この金額では不十分だと考えています。ですから、近隣市町村の状況を見比べて、隣でやったからうちのほうも同じ金額でなくて、それぞれ自治体でもって事情なり何なり違うのですから、それに合った金額を基礎として算出して支援するべきだと感じています。その辺の考えというか、この修正はさておきまして、後でもってその辺、支援する考えがあるのかどうかお聞きしたいと思います。

それから、その次のページでもって無線LANの構築設定業務、分散業務も始まって、ありとあらゆるところでいろいろな課が分散していますよね。そうしますと、なおさら、電話は引いてあるんでしょうけれども、例えば私が誰々さんいますか、今、席を外しています、こういうことになる、でも席を外していると言っても、それは庁内だと思うんで、庁内のどこかにはいるんですよ。そのとき、そのときに連絡する方法、庁内で使える、いわゆるPHSなども、全員に持たせるというわけにはいかないでしょうけれども、ある程度、係長なり課長なりに持たせて、すぐこういうお客さんが来ていますよと、連絡が取れるようにすべきだと思うんです。いかがでしょうか。

そういうことも含めて、ここにはないんですけども、予備費などでもって十分そういうことができるので、住民サービス向上のためにやる気があるのか、ないのか、お聞きしたいと思います。

それから、その次のページへ行きまして、これも先ほどから出ていますけれども、民間の社会福祉施設、あるいは民間の保育所、それから、民間というか個人開業医のお医者さ

んの支援金が上がっています。これ、みんなさっきの一施設に対して50万円という文言と、今度は他自治体でもって参考にしている10万円という数字も出てきちちゃっているんですけども、これらをもっと支援すべきだなと思うんですよ。これから、なおさら新型コロナだか風邪だか分からないのが増えるから、ですから、なおさら診療所だけでは足りませんから、こういう開業医に対しても、しっかりと対策を取ってくださいよということで、もう少し支援すべきだと私は思っていますが、ここは予算のほうで上げてからここで修正はできないんですけども、予備費なり何なり、それを充当する気があるのかどうなのか、また、そういう必要性を感じているのか、いないのか、それをお聞きしたいと思います。

次、伺います。14ページ、町内共通商品券販売拡大事業266万円減額されていますが、この減額の理由とは何なんですか。これをちょっとお聞きしたい。

それから、もう一つは、プレミアム付商品券販売事務業務委託として上がっています。これはいいのはいいですよ、住民のために購買力や何かも向上していいんですけども、前に私は1回指摘したことがあるんですよ。この券の購入、朝早くから商工会の売っている場所に並んで買うんですよ、求めるんですよ。でも、みんな健常者なんですよ。弱者なんか誰もあそこに並んでいませんよ。ですから、券の購入についても、これは委託しちゃうからあれなんですけども、委託する前に、お金を渡す前に、ちゃんとその辺をしっかりと指導して、弱者にも行き渡るようお願いしたいんですよ。そういう対策を取るのか、どうなのか、それをお伺いしたいと思います。

それから商店街再生事業、これもお聞きいたしまして、1店舗でもって家賃を払ってということで、中を改造してやるということなんだけども、この創業支援をするんだけど、利根町の商店街の空き店舗というのは、一体どのくらいあるんですか。それで、今回創業支援する地区というか、空き店舗、これはどの地区に当たるんですか。それをちょっと教えていただきたい。

それから、15ページの自治会への100万円、一律100万円、各自治会からいろいろな申請が上がってきます。でも、なかなかまちまちで、これは地区の防災向上のために行政のほうである程度指導はするのでしょうかけれども、しかし聞くとところによると、既に一部買いそろえたようなところがあると聞くんですよ。これ、どうするんですか。予算が通っていないのに先に買ったのは、補助する必要はないよね。そういうことも含めてちょっとお聞きしたいんですよ。

以上です。

○議長（船川京子君） 井原議員の質疑に対する答弁を求めます。

赤尾津議会事務局長。

○議会事務局長（赤尾津政男君） それでは、井原議員の質疑にお答えいたします。

議会議場設備更新、これ完了しますとインターネットのほうに議会がライブ中継されることになります。目標は、3月議会から実施したいと考えております。

以上です。

○議長（船川京子君） 川上企画課長。

○企画課長（川上叔春君） それでは、お答えいたします。

まず、全体的な御質問で、高齢者がそういった機器を持っていないのではないか、そういう方の対応をどうするかということです。

確かに今回、議会の議場ライブ配信については、インターネットを介してユーチューブ等で、例えば自宅のパソコン、あるいはもちろんスマートフォン、携帯電話、そういったもので視聴できる。確かに議員御指摘のとおり、そういうのをお持ちでない方も当然いらっしゃると思いますが、そういう方につきましては、今後こういった方法で町で議会の配信をしていますということを周知しながら、出前講座等を含めて、そういった機器があると便利であるということを周知をしながら、なるべく多くの方に視聴できるように、町のほうでも働きかけていけたらと考えてございます。

それから、利根町ふれ愛タクシーの利用券の御質問の中で、当事者が独り親世帯、独り世帯、それから、生活困窮者がどのぐらいいるのかという御質問ですけれども、申し訳ございません、個々の利用登録者の状況については、現在把握しておりませんので、お答えのほうは差し控えさせていただきます。

続きまして、ふれ愛タクシーの住民検索システムの改修業務委託、このシステムを導入することによって利用者の利便性は上がるのかということでございますが、結論から申し上げますと、現在のシステムが来年の途中でライセンス契約が切れてしまいます。現在、不具合も出ておりますので、今回導入する機器につきましては、現在と同様の仕様の機器を導入したいと考えております。

ただ、今回導入するに当たりましては、今後の財政的な面もありますけれども、今後のふれ愛タクシーの増車にも対応できるように、システムをつくり上げたいと考えております。

それから、大学への支援金の50万円でございますが、安いんじゃないかという質問かと思えます。確かに議員御指摘のとおり、出入りする人数によって金額も変えるという算出方法もあります。今回、先ほど答弁しましたとおり、施設の規模で算出して50万円という定額で決めさせていただきました。これにつきましては、今後の感染状況等を踏まえまして、今後、町全体の他の感染者支援金も含めて、必要性を見極めながら、必要であれば第三次の臨時交付金を活用して考えていきたいと思っております。

続きまして、庁内無線LANの工事の件ですが、離席者への貸与ということでございますけれども、今回の無線LANの貸与につきましては、先般、緊急事態宣言時に庁舎の各課が分散業務を行いました。例えば一つの課が同じフロアでなく違うフロアで、例えば2階のある課が5階の会議室を使ったりというふうに対応して分散業務を行いました。

そのときに、LAN線が5階会議室、距離に関する工事はLAN線が行っておりません

で、現在のフロアから、例えば4階のフロアから5階のフロアまで長いLAN線を飛ばして対応したという状況がありまして、これからの新しい生活様式を考えますと、やはりどこでも自分のパソコンを持って仕事ができる環境を維持するためには、やはり無線LANというのが有効だろうと考えまして、今回、このコロナの地方創生臨時交付金を使いまして、庁内無線LANの構築を行いました。

離席者の対応につきましては、これまでも職員の中では席を離れる場合は行き先を告げるなど対応しておりますので、そこら辺のほうは徹底していければと考えています。

企画課のほうについては以上です。

○議長（船川京子君） 飯塚総務課長。

○総務課長（飯塚良一君） 行政アプリの件でございます。

まず、アプリの機能については、インターネットで見られるホームページ、これとは全く別物でございます。インターネットを介して見る場合には、ホームページなどは回線が繋がらないと何も表示されないということになるかと思えます。

また、アプリの場合は、アプリさえインストールしているものであれば、それまでの情報については全てスマートフォンの中に入っているという違いが、まずございます。

そのアプリでございますが、まず、町のホームページのほうとのリンクも考えております。当然、アプリの中にも情報が入るわけなんです。新しい情報については常にホームページのほうと同じような情報になっていきます。

それと、ホームページのほうでは当然プッシュ通知はないんですが、スマートフォンを持っていることで、新たな情報が入った場合には、ぽんと浮かび上がるような情報が入ってまいります。

それで、内容でございますが、今、登録制メールで登録している方には配信している内容、これも踏まえ、それと町のホームページも踏まえた内容となっていきます。

特に、これまでなかったものとしては、防災情報については、画像配信をできるし、今まではメールだけだったんですが、ホームページとリンクさせることによって、例えば地図情報であるとか、避難情報を開いていますという情報を上げたりとかというのも可能になってまいります。

それは、ホームページのほうですと、いちいちそれを立ち上げなければならなかったんですが、アプリだと、それが迅速にできる、ホームページとリンクさせることによって迅速にできるというメリットがございます。

それと、単純に一般的にアプリで言われている利点なんです。ホームページとの違いです。これは利用者の欲しい情報だけが表示できるとか、情報の在りかが分かりやすいとか、先ほど申し上げました新たな情報以外にも携帯に入っていると、プッシュ通知による自治体からの情報通知ができると、表示内容は利用者が選べるといった利点がございます。

次に、最後に御質問のありました各地区に行く防災補助金の話でございます。既に関ったものに対する補助というのは、基本的にはないと思います。ただ、今回、コロナ禍ということで、もしかしたら迷うものも出てくるかという気はしております。そこを厳しくするのかどうかという話なんですけど、区長方への説明会でも、時期的なものではないんですが、できるだけ幅広くお願いしたいという要望もございました。実際、蓋を開けてみないと、まだ買ってしまったんだけどという相談を受けていないので、そういう想定はあまりしたくないんですが、要綱の中で当然やむを得ない場合というのも想定しなければいけないのかなと思いますので、通常の補助金であればあり得ないのかもしれませんが、今回、コロナ対策ということで、その辺は考えてもいいのかなというものもあります。

すぐに関わなきゃ、今も台風の時期に入ってきていますので、今なければいけないというものも、もしかしたらあるかもしれませんので、それは要綱を整理する際に、きちんと考えていきたいと思っています。

以上です。

○議長（船川京子君） 近藤経済課長。

○経済課長兼農業委員会事務局長（近藤一夫君） それでは、井原議員の質疑にお答えします。

最初に、14ページのプレミアム付商品券関係で、プレミアム付商品券の減額の理由というものの質問に対しまして、お答えします。

当初の予算では、町内共通商品券販路拡大事業として、毎年実施している町内共通商品券の販売に係る経費266万円を計上していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、新型コロナウイルスの影響で低迷している町の経済対策を目的に、新たに新型コロナ禍経済対策事業として、例年よりプレミアム率を上げたプレミアム付商品券として販売することにしたため、町内共通商品券販路拡大事業にて除した予算を減額したものでございます。

続きまして、券の購入の仕方でございますが、プレミアム券の弱者の購入についてでございますが、今後、商工会と協議しながら、その辺は弱者対策を必ずしていきたいと思っております。

続きまして、インキュベーション事業の店舗数でございますが、空き店舗の店舗数というか、空き店舗に関しては、調査を商工会のほうにお願いしておりますので、そこから数字が上がってきておりませんので、ちょっとはっきりした数字のほうは手元にはございません。どの地区ということなんですけど、一応利根町全域の空き店舗を考えております。

観光アプリの内容でございますが、主な機能としましては、観光地の案内、観光地検索、モデルコースの掲載、AR機能、住民向けお知らせ情報を掲載、町ホームページやSNSのリンク集などを想定しております。その他のオプションで多言語表示も対応可能ということで聞いております。

商工会ではなく、観光協会のほうでこの事業は実施します。

以上です。

○議長（船川京子君） 蜂谷福祉課長。

○福祉課長（蜂谷忠義君） それでは、12ページのほうをお願いいたします。

3番、款3民生費、目1社会福祉総務費、節18負・補・交の利根町社会福祉施設感染症対策支援金ですが、こちらは介護サービス事業所及び障害福祉サービス事業所に対し、高齢者、障害者の生活に必要なサービスを継続して提供できるよう、新型コロナウイルス感染症の感染防止を講じるために必要な経費を支援するものです。

現在、こちらの施設に対しましては、県からマスクや消毒液の配布はなされています。だけれども、それで足りない部分があるので、今回、町としてこの感染症防止のための必要だと思われる経費を支援するものです。今後のさらなる支援ということですが、こちらにつきましては、やはり今後の感染症の拡大状況を踏まえながら考慮していく必要があると感じています。

以上です。

○議長（船川京子君） 花嶋子育て支援課長。

○子育て支援課長（花嶋みゆき君） 13ページをお願いします。

款3民生費、目2児童措置費の中の保育所等補助金事業、各施設に30万円の支援金を補助するという事なんですけれども、保育所等のほうに、昨年度のコロナ対策関係の補助金申請のときに、補助内容につきまして各園からお話を伺ったところ、網戸をつけたりなど、補助金に該当しないものがありまして、そのようなものに使用していただければということで、この金額の支援金になりましたが、今後の支援につきましては、実際の状況により検討していきたいと思っております。

以上です。

○議長（船川京子君） 狩谷保健福祉センター所長。

○保健福祉センター所長（狩谷美弥子君） それでは、井原議員の御質疑にお答えいたします。

予算書13ページでございます。

款4衛生費、項1保健衛生費、節2予防費の感染者予防対策事業で診療に当たる医療機関、一律10万円の金額は少ないのではないかと、そして今後、予備費などの財源を充てる考えはあるのかという御質問かと思っております。これに関してお答えいたします。

医療、確かに今後、秋、冬に向けて新型コロナウイルス感染症、そして季節型インフルエンザの同時流行が全国的にも懸念されており、医療機関への負担が今以上に増えてくる可能性も予測されますので、現時点では一律10万円という金額を計上させていただきましたが、この感染状況を踏まえまして、今後、何を財源に充てるのかということは、この時点では充てるかという返答につきましては致しかねますが、この後、また支援金を増やす

ということに関しては、感染状況を踏まえまして考えさせていただきたいと思います。

以上でございます。

○議長（船川京子君） 井原議員。

○8番（井原正光君） 1点だけ、いろいろ前向きな話をお聞きいたしました。検討する、あるいは財源についてもということで、各課長が答弁されたかと思うんですが、では財源を統括している財政課長、今のお話を聞いて、財源確保、どうですか、やっていただけますか。

○議長（船川京子君） 大越財政課長。

○財政課長（大越達也君） それでは、井原議員の御質疑にお答えさせていただきます。

今回の補正予算につきましては、国の緊急経済対策としましての財源がございましたために補正予算として計上したものでございます。今回第二次ということで、第三次もあるというお話を伺っておりますので、財源が確保でき次第、また新たな補正予算等を計上したいと思っております。

以上でございます。

○議長（船川京子君） ほかに質疑ございませんでしょうか。

峯山議員。

○1番（峯山典明君） 1番峯山典明です。予算書の9ページ、先ほどから何度も質疑が出ておりますけれども、総務管理費の行政アプリ作成業務委託、そして15ページの商工費、利根町観光協会補助金、こちらも観光アプリです。こちら共通してお尋ねしたいことがあります。まず委託先、そして目標ダウンロード数、そして簡単スマホなどアプリのインストールの制限がされているものでもインストールできるのかどうか、そしてバージョンアップをすると、先ほど答弁にございましたけれども、そのバージョンアップを含め、アプリを立ち上げてすぐ落ちてしまったり、何か操作したときにフリーズするなど不具合が起きたときの修正などに、コストは追加でかかるのかどうか、そしてオフラインで情報更新が先ほどできるというお話でしたけれども、本当に圏外であって情報更新ができるのかどうか、こちらを共通してお尋ねいたします。

そして予算書の15ページ、消防費の防災施設費についてお尋ねします。

備品購入費、それぞれ購入されているものがありますが、それぞれ購入された数、そして保管場所についてお尋ねいたします。

○議長（船川京子君） 飯塚総務課長。

○総務課長（飯塚良一君） 峯山議員の御質疑にお答えをいたします。

委託先でございますが、これから選定ということになります。

相談につきましては、ホームページの運営会社のほうに御相談しております。

それと、目標登録、これについては、防災情報がありますので、全町民登録していただく、ダウンロードしていただくというのを目標に掲げております。アプリですので、フリ

ーズというのはあまりないのかなと考えております。ただ、アプリを通してホームページのほうにリンクを貼ることになりますので、そこからアクセスが集中した場合には、所定を超えると多少動きが遅くなったりというのは考えられるかなと考えております。

それと、圏外での情報更新ができるということでしたが、それは言っておりませんで、既にインストールされている情報、取得している情報については圏外でも見られますよと、新しい情報の更新は、当然電波が受信できませんので、それはされません。あくまでも、これまであった情報を見直すということで使えるという扱いをしております。

それと防災費の、既に購入したものはということなんですが、まだ予算が通っておりませんので、まだ購入はしておりません。

それと保管場所につきましては、防災倉庫、防災倉庫というのは押付地先の防災倉庫です。こちらの倉庫に入れます。

それと、それで入り切れない場合に関しましては、役場の倉庫であったり、あとは生涯学習センターに設置してある倉庫のほう、こちらのほうの3か所のいずれかになるかと思えます。

以上でございます。

○議長（船川京子君） 峯山議員。

○1番（峯山典明君） 防災施設について再度お尋ねいたします。

備品購入費ですけれども、購入する予定数で構いませんので、どのぐらい購入されるか、予定があればお答えください。

○議長（船川京子君） 飯塚総務課長。

○総務課長（飯塚良一君） これは、備品と消耗品を含めてということによろしいでしょうか。

それでは申し上げます。タオル、1箱50枚入が50箱、全部で500枚です。それとフェースシールド250個、ポリエチレン手袋100枚、5箱で500枚ですね。これが二つになります。全部で1,000枚です。それと子供用のマスク100枚入りが5箱で500枚、ペーパータオル200枚入りが25箱、それと、レジ袋、これをごみ袋として使うわけなんですけど、100枚入が10パックです。全部で1,000枚です。それと授乳セット5セット。

そこからは非常食です。温めなくてもおいしいカレー120食、レスキューフーズ一食白い御飯、これが120食、それとメジャー10個、養生テープ50個、電源コードリール10個、ベンリー間仕切り、これは避難所で使うテントのような形をした間仕切りなんですけど、これを60基追加します。それとエアベッド、これは避難所で使う空気を入れるようになっているベッドでございますが70台、それと避難所用のテント、受付とか一時待機場所として使うのが10基、それと、ただいま紹介しましたテント用のウエイト20個、それと36地区への避難所補助金ということでございます。これが全てです。

以上でございます。

○議長（船川京子君） 近藤経済課長。

○経済課長兼農業委員会事務局長（近藤一夫君） 峯山議員の御質疑にお答えします。

観光アプリの委託先、これは観光協会の事業なものですから、一応金額、経費等のサンプルとして株式会社吉蔵エックスワイゼットソリューションズから頂いております。

目標登録ですが、現在のところ特に目標の設定は決めておりません。

圏外でダウンするかどうかということですが、圏外では使用はできません。

以上でございます。

○議長（船川京子君） ほかに、質疑ございませんでしょうか。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

まず、原案に反対する議員の発言を許します。

次に、原案に賛成する議員の発言を許します。

峯山議員。

〔1番峯山典明君登壇〕

○1番（峯山典明君） 1番峯山典明でございます。私は、賛成の立場で討論させていただきます。

今回、コロナ対策費として政府から二次補正予算が出されまして、ほかの市町村では既に9月議会で執行されているという話を聞いております。利根町でも、困っている方たちや、今後インフルエンザも広まるであろう状況を鑑みて、コロナ対策、コロナ拡大予防のためにも速やかに執行していただきたく、今回、賛成とさせていただきます。

ただし、やはり中には、今回のコロナ対策費で緊急な必要な予算かなと思うところも幾つかございました。それらについては、やはり今後私たちは、費用対効果について検証していきたいと思っております。まずは速やかな執行をお願いしたく賛成とさせていただきます。

以上です。

○議長（船川京子君） 次に、原案に反対する議員の発言を許します。

次に、原案に賛成する議員の発言を許します。

討論を打ち切ります。

これから、議案第65号 令和2年度利根町一般会計補正予算（第9号）を採決します。

本案は、原案について決定することに賛成する議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（船川京子君） 起立全員です。したがって、議案第65号は原案どおり可決されました。

○議長（船川京子君） 日程第4、議案第66号 令和2年度利根町介護サービス事業特別

会計補正予算（第2号）を議題とします。

補足説明を求めます。

蜂谷福祉課長。

〔福祉課長蜂谷忠義君登壇〕

○福祉課長（蜂谷忠義君） それでは、議案第66号 令和2年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）につきまして、補足して御説明いたします。

最後のページ、4ページをお願いいたします。

最初に、歳入でございます。

款4 諸収入、目1 雑入で30万円を増額するものでございます。こちらは、介護サービス事業所施設等に10日以上勤務し、利用者と接した職員に対し、国から新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金（介護分）として、1人5万円支給されるものです。その対象施設の一つが地域包括支援センターで職員6人が対象となり、全額国から支給されます。

続きまして、歳出でございます。

款1 サービス事業費、目1 居宅介護予防支援事業費は、節7 報償費で30万円を増額するものです。こちらは、歳入で御説明いたしましたとおり、新型コロナウイルス感染症対応従事者慰労金（介護分）を対象者に支給する予算を計上してございます。

以上で説明を終わります。

○議長（船川京子君） 説明が終わりました。

これから本案に対する質疑を行います。

質疑を打ち切ります。

討論を行います。

まず、原案に反対する議員の発言を許します。

次に、原案に賛成する議員の発言を許します。

討論を打ち切ります。

これから、議案第66号 令和2年度利根町介護サービス事業特別会計補正予算（第2号）を採決します。

本案は、原案について決定することに賛成する議員の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（船川京子君） 起立全員です。したがって、議案第66号は原案どおり可決されました。

○議長（船川京子君） 以上で、本臨時会の議事日程は全部終了いたしました。

これをもちまして、令和2年第4回利根町議会臨時会を閉会いたします。

お疲れさまでした。

午後零時01分閉会

地方自治法第123条第2項の規定により署名する

利根町議会議長 船 川 京 子

署 名 議 員 峯 山 典 明

署 名 議 員 山 崎 誠 一 郎